

曾谷殿御返事

(輪陀王の事)

御書新版 1447 3行目〜6行目
御書全集 1065 3行目〜5行目

白馬はくばの鳴なくは我われらが南無妙法蓮

華経けのこえなり。この声こえを聞きかせ

給たまう梵天ぼんてん・帝釈たいしやく・日月にちがつ・四天等してんとう、

いかでか色いろを増まし光ひかりを盛さかん

になし給たまわざるべき、いかでか我われ

らを守護しゆごし給たまわざるべきと、つよ強

づよ々とお思ぼしめすべし。

通解

白馬はくばがいななくのは我われらが唱となえる南無妙法蓮華経けの声こえである。この声こえを聞かれた大梵天王だいぼんてんのう、帝釈天たいしやくてん、日月天にってん、四天天王してんのうとうが、どうして色いろつやをま増し、輝かがやきをつよ強くされないはずがあるか、どうして我われらを守護しゆごされないはずがあるかと、強つよく思おもわれべきである。